

# 言語聴覚士について

## 言語聴覚士とは…

病気や事故、発達上の問題などで生じる、ことばによるコミュニケーションの困りや摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）の問題に対し、自分らしい生活が送れるよう専門的なアドバイスやサポートを行なっています。



### 言語訓練

ことばを話す、聞く、読む、書く、考える、コミュニケーションを図ることにに関する練習をします。



### 構音訓練

発達過程のお子様や疾患等による影響で、発音がはっきりしない方に対して正しい発音の練習や口や舌の運動を練習します。



### 摂食嚥下訓練

食べる機能を高める練習をしたり、機能に応じた食べ方ができるように練習をします。



### 補聴、聴覚障害支援

補聴のための検査や指導、聴覚障害に応じたコミュニケーションの練習をします。

## 言語聴覚療法の対象

- ✓ 脳卒中等の後遺症に伴う高次脳機能障害
- ✓ 摂食・嚥下障害
- ✓ 聴覚障害
- ✓ 知的障害、発達障害
- ✓ 発声、構音障害
- ✓ 吃音

など

乳児から高齢者まで、  
幅広く関わります。  
生活環境やご家族サポートも  
大切にしています。



# 当院の特徴ある言語聴覚療法

## 小児の言葉やコミュニケーションの評価・訓練



言葉の遅れや吃音、自閉症スペクトラム・注意欠如多動症などの発達障害を背景とした“話す”、“理解する”、“コミュニケーションをとる”などの育ちの支援をします。

## 小児の構音評価・訓練



発達過程にみられる発音の誤りに対して、検査を実施し、正しい発音の仕方を指導します。

## 学習の困難さに対する評価・訓練



読み書きや計算などの学習の困りに対する評価を行い、それぞれの学び方に合った方法を提案・指導します。

## 子どもの哺乳、離乳食期の摂食評価・訓練



“ミルクが飲めない”、“離乳食が進まない”といった哺乳や離乳食期の相談に対して、発達をみながら哺乳や食事の工夫などを提案・指導します。

## 摂食嚥下機能障害に対する評価・訓練



脳卒中や高齢者の誤嚥性肺炎等で、嚥下機能の低下をきたした方に対する摂食嚥下機能の評価や訓練、食事調整の指導を行います。